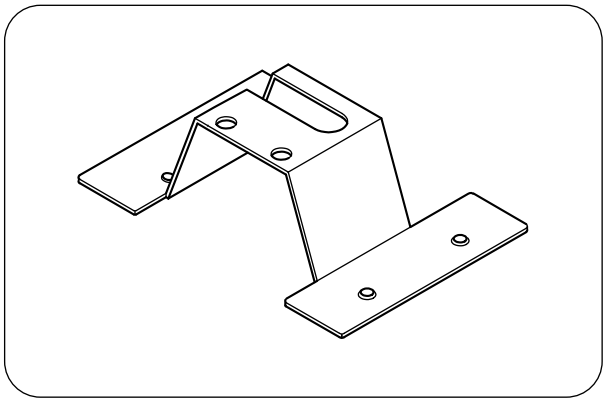
TOA

取扱説明書

天井直付金具　C-BC501



このたびは、TOA天井直付金具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置場所の強度を確認する
取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。

強　制

コンビネーションカメラ以外は取り付けない
他のカメラに使用すると、落下などで、けがの原因となります。

禁　止

ねじや固定機構は確実に締め付ける
取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると、落下して、けがの原因となります。

強　制

TOA株式会社

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
適切な工事を行わないと、感電・けがの原因となることがあります。

強　制

設置場所に注意する

塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しないでください。
取り付け部の劣化により落下して、けがの原因となることがあります。

強　制

金属のエッジで手をこすらない

強くこすると、けがの原因となることがあります。

禁　止

定期的な点検をする

販売店に、定期的な点検を依頼してください。
取付金具類の破損や腐食などにより、落下して、けがの原因となることがあります。

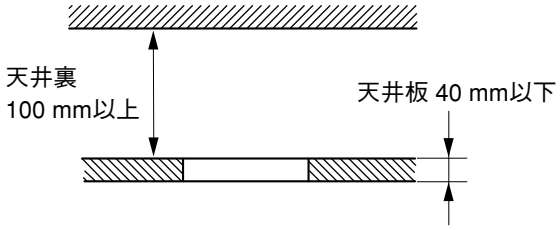
強　制

概　要

本金具は、コンビネーションカメラ専用の天井直付金具です。二重天井の石こうボードなど、取付ねじの強度が十分に得られない場所にカメラを設置するときに使用します。

設置上のご注意

- 天井裏が 100 mm 以上あるところでご使用ください。
- 取り付け可能な天井板の厚さは 40 mm 以下です。
- 必ず付属のセーフティワイヤを使って、本金具を取り付けてください。
- カメラ本体と本金具は、必ず指定の取付ねじを使って固定させ、がたつかないことを確認してください。



設置のしかた

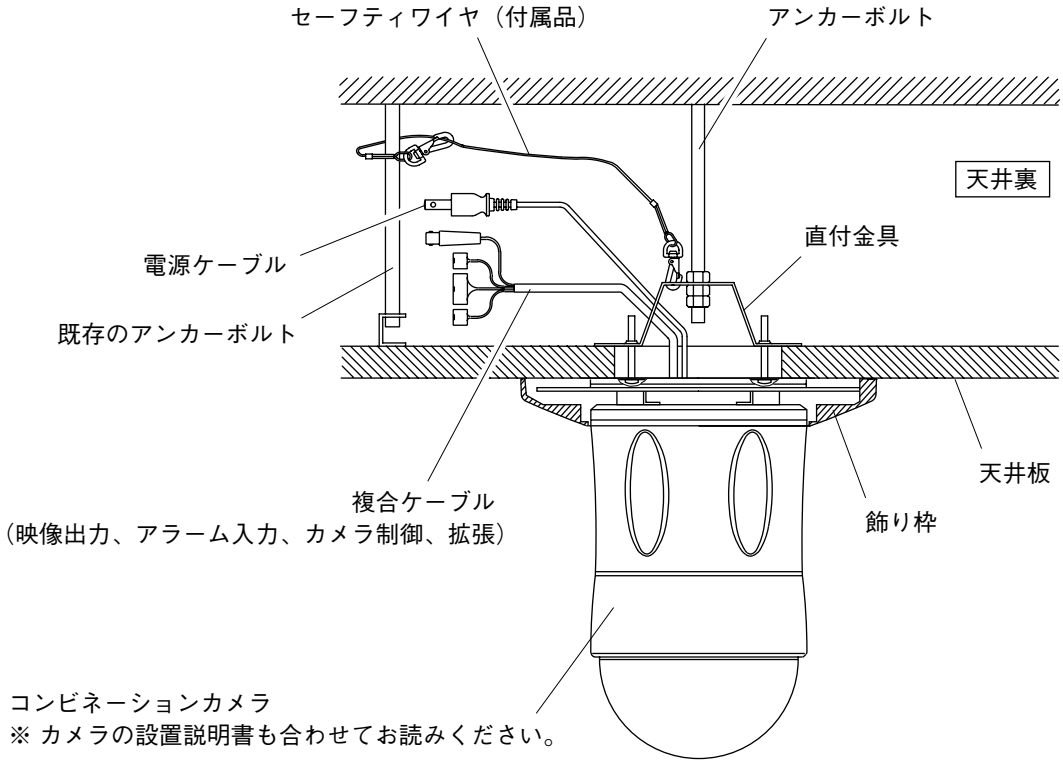
設置する前に、「安全上のご注意」と「設置上のご注意」を必ずお読みください。

■ 構成部品

以下の部品が揃っていることをお確かめください。

直付金具 …… 1
セーフティワイヤ …… 1
金具取付ねじ（小ねじ M4 × 60）…… 4

■ 取付例（アンカーボルトに取り付けたとき）



■ 取付順序

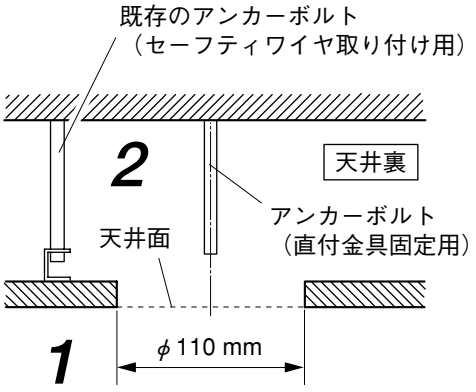
1 **天井に直径110 mmの取付穴をあける。**

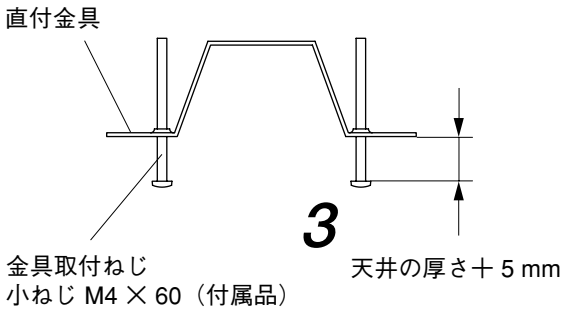
2 **天井裏に本金具を固定できるアンカーボルトとセーフティワイヤを取り付けできるアンカーボルトを2本打ち込む。**

※ 直付金具固定用は、直径110 mmの取付穴の中心に打ち込んでください。
（アンカーボルトは天井面より下に出ないこと。）

※ セーフティワイヤ取り付け用は、既存のアンカーボルトが近くにある場合は代用できます。

3 **本金具に付属の金具取付ねじM4（4本）を「天井の厚さ＋5 mm」程度まで締め込む。**





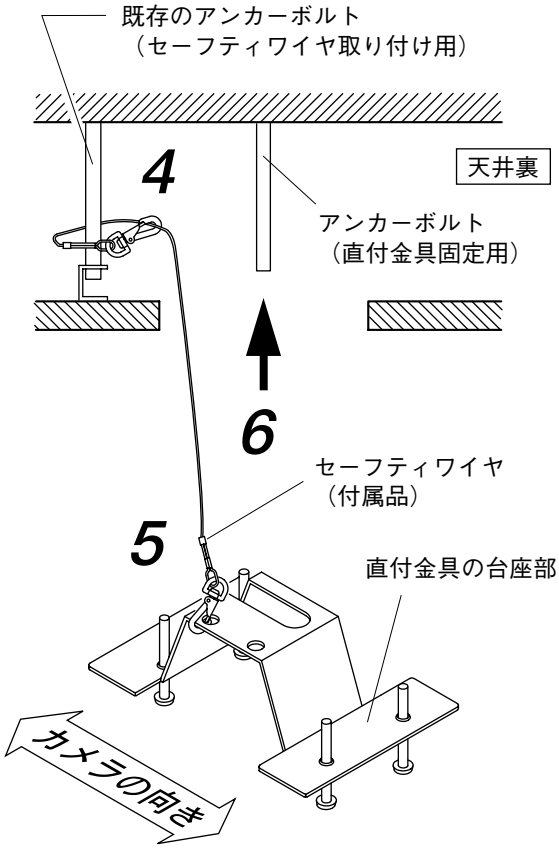
4 付属のセーフティワイヤをアンカーボルトに取り付ける。

5 セーフティワイヤの片方に本金具を取り付ける。

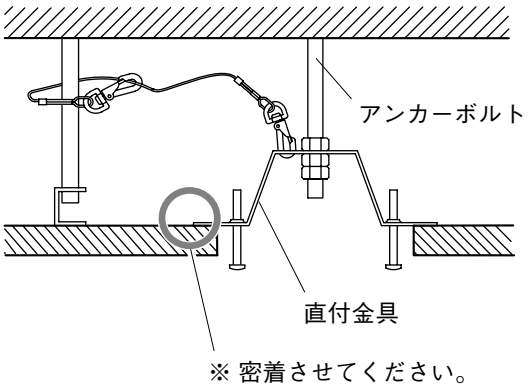
6 本金具を取付穴に通して、天井裏のアンカーボルトに取り付ける。

※ カメラの基準方向（電源投入時のカメラの向き）を決め、本金具を取付穴に通して天井裏へ入れてください。

※ 本金具の台座と天井板の裏側が密着するように固定してください。



直付金具の取付完成図

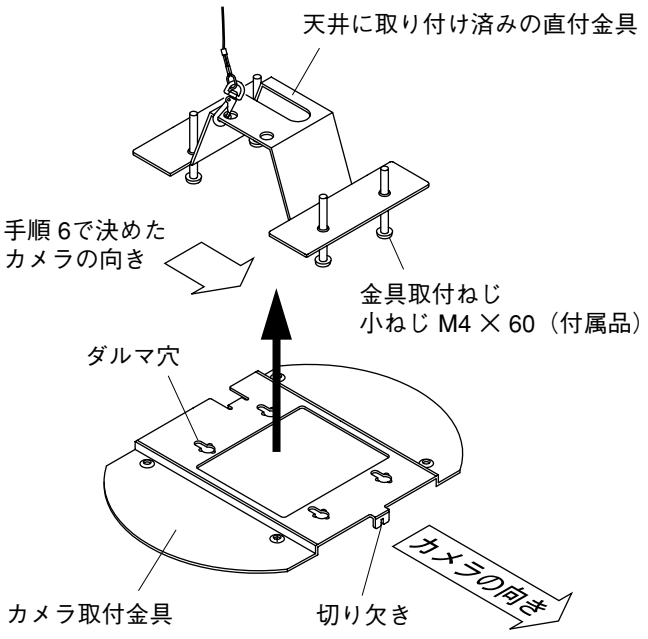


7 本金具にカメラ取付金具（カメラに付属）を取り付ける。

※ カメラに付属のカメラ取付金具とカメラベースを分離してください。

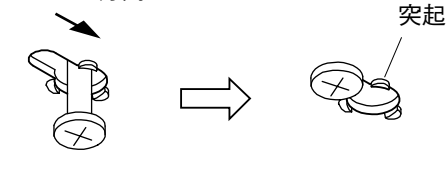
※ カメラ取付金具の切り欠きが、カメラの基準方向（電源投入時のカメラの向き）となるようにしてください。

※ 金具取付ねじの頭をカメラ取付金具のダルマ穴に通し、スライドさせ締め付けてください。



お願い

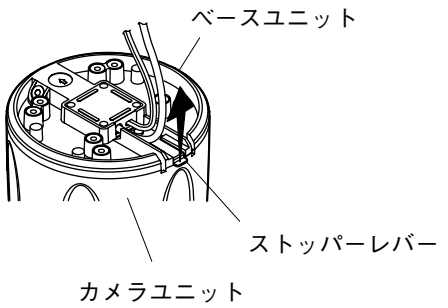
金具取付ねじは、ダルマ穴部の「突起」を乗り越えてから締め付けてください。



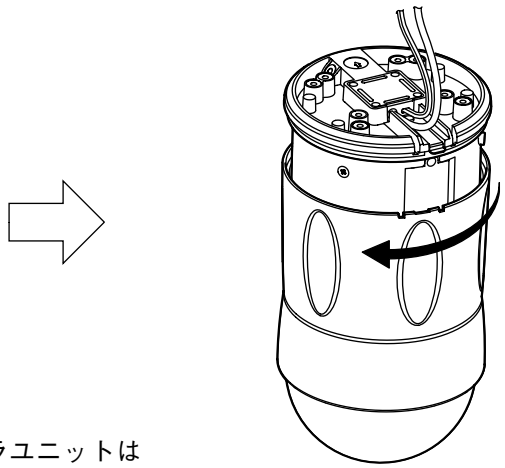
8 カメラ本体をベースユニットとカメラユニットに分離する。

※ 詳しくはカメラの設置説明書をご覧ください。

ストッパーレバーを矢印方向に押し上げて、ベースユニットとカメラユニットのロックを解除します。



カメラユニットを矢印方向に回します。

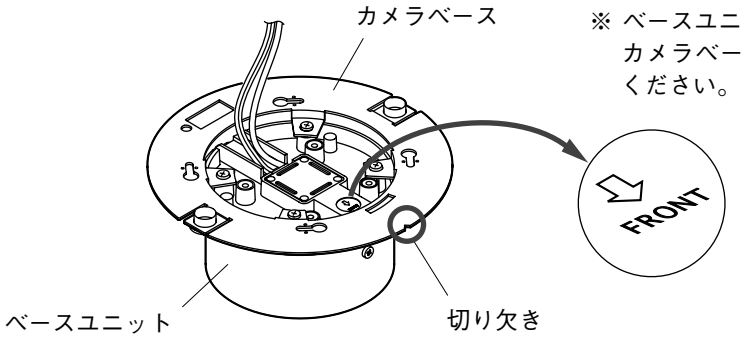


メ　モ
- 出荷時には、ベースユニットとカメラユニットはセーフティワイヤでつながっています。
- ユニット分離後は、作業をやりやすくするためにセーフティワイヤを取り外します。

RS-485接続のときは、ベースユニットの底面にある設定スイッチで、カメラアドレスおよびモードの設定を行ってください。詳しくは、コンビネーションカメラ設置説明書の「カメラ設定のしかた」をご覧ください。

9 ベースユニットにカメラベース（カメラに付属）を取り付ける。

※ 詳しくはカメラの設置説明書をご覧ください。



※ ベースユニットに表示されている「FRONT」とカメラベースの「切り欠き」の方向を合わせてください。

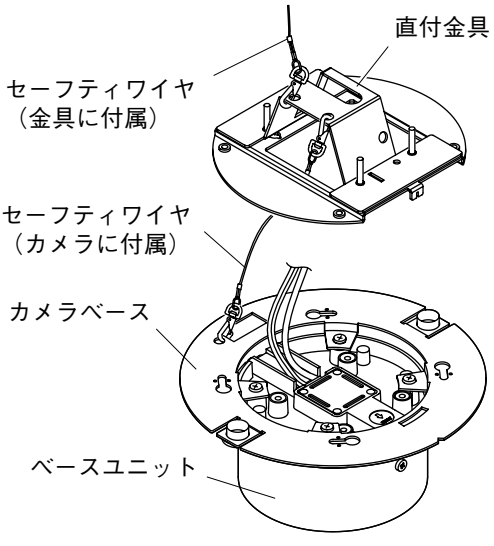
10 ベースユニットを天井に設置するときは、セーフティワイヤを取り付ける。

10-1 カメラに付属のセーフティワイヤをカメラベースに取り付けます。

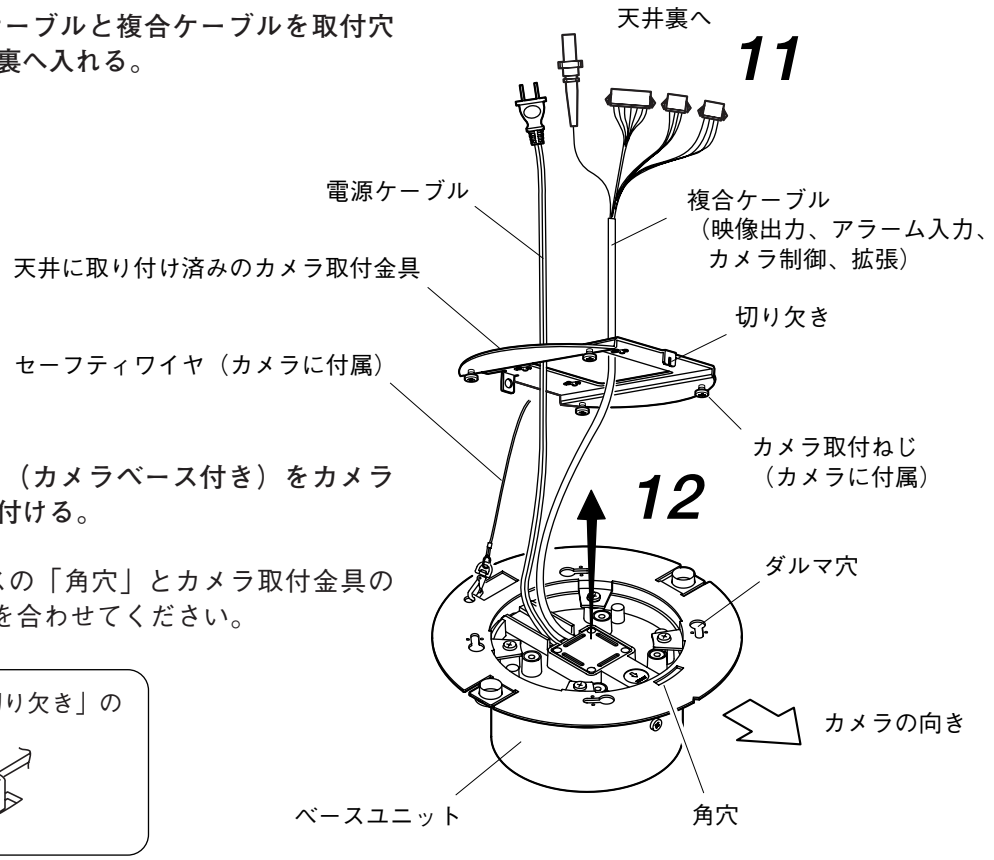
10-2 もう一方のワイヤのフックを、天井裏に取り付け済みの直付金具に取り付けます。

10-3 セーフティワイヤの金属部は、ワイヤを取り付けた部品以外の金属部に触れないように、ビニールテープなどで絶縁処理してください。

※ ワイヤを引っ張って、確実につながっていることを確認してください。



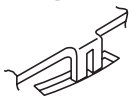
11 カメラの電源ケーブルと複合ケーブルを取付穴に通して、天井裏へ入れる。



12 ベースユニット（カメラベース付き）をカメラ取付金具に取り付ける。

※ カメラベースの「角穴」とカメラ取付金具の「切り欠き」を合わせてください。

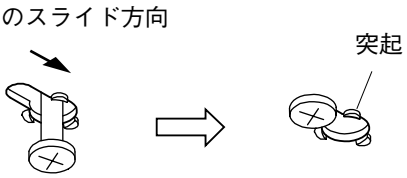
「角穴」と「切り欠き」の合わせかた



※ カメラ取付ねじの頭をカメラベースのダルマ穴に通し、スライドさせ締め付けてください。

お願い

カメラ取付ねじは、ダルマ穴部の「突起」を乗り越えてから締め付けてください。



13 ベースユニットからセーフティワイヤを引き出して、カメラユニットに取り付ける。

※ カメラユニットを取り付ける前に、ベースユニットとカメラユニットのシリアル番号が同じであることを確認してください。

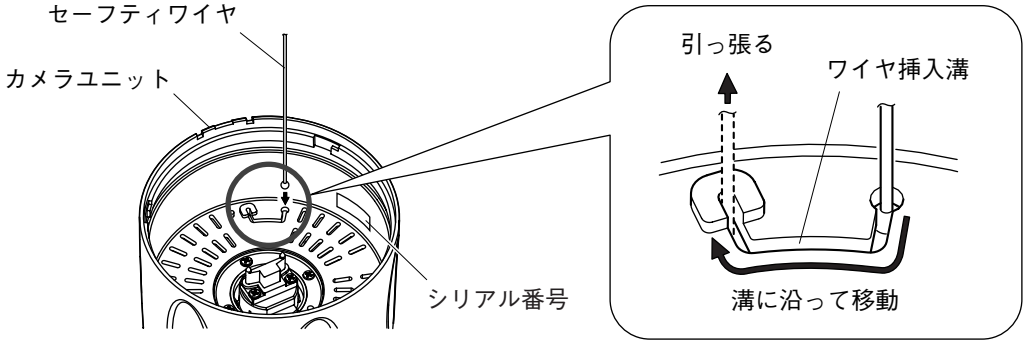
13-1 セーフティワイヤの引き出しかた

ベースユニットの底面にある球を持って引き出します。

13-2 セーフティワイヤの固定のしかた

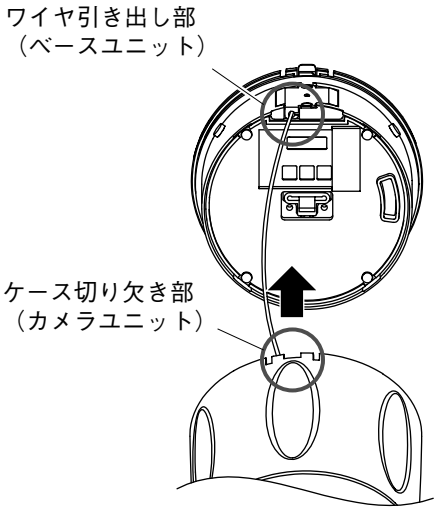
ベースユニットから引き出したワイヤの先端の球を、カメラユニット内のワイヤ挿入溝に通し、ワイヤの溝に沿って止まるまで移動させます。その位置で、クリック感があるまで引っ張り上げてください。

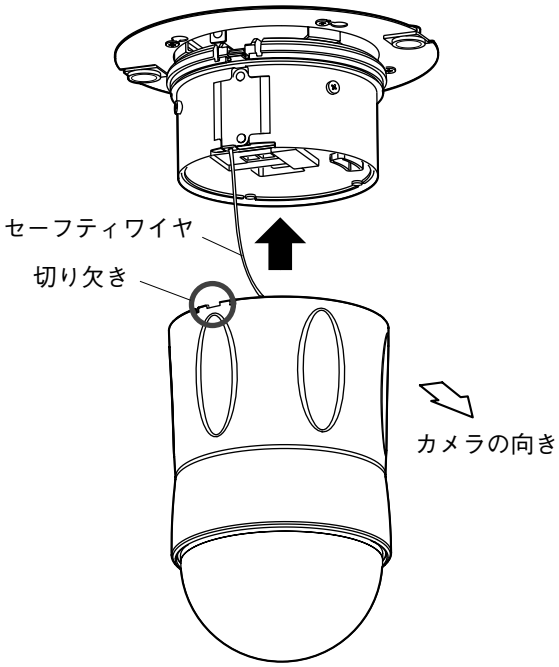
※ ワイヤを引っ張って、確実につながっていることを確認してください。



14 カメラユニットをベースユニットに取り付ける。

14-1 ケースの切り欠き部をベースユニットのワイヤ引き出し部に合わせてから、カメラユニットをまっすぐ持ち上げます。





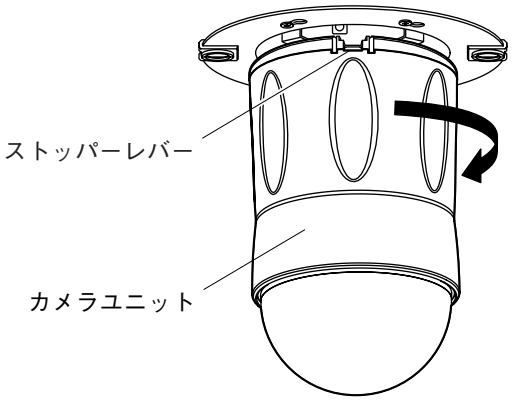
後方から見た図

14-2 1カ所だけ、カメラユニットが奥まで入るところがありますので、そこでカメラユニットを右方向にカチッと音がするまで（約15˚）回します。

ストッパーレバーが下りて、カメラユニットの切り欠き部に入ってロックしていることを確認してください。
ロックしない場合は、一度カメラユニットを抜いて、最初からやり直してください。

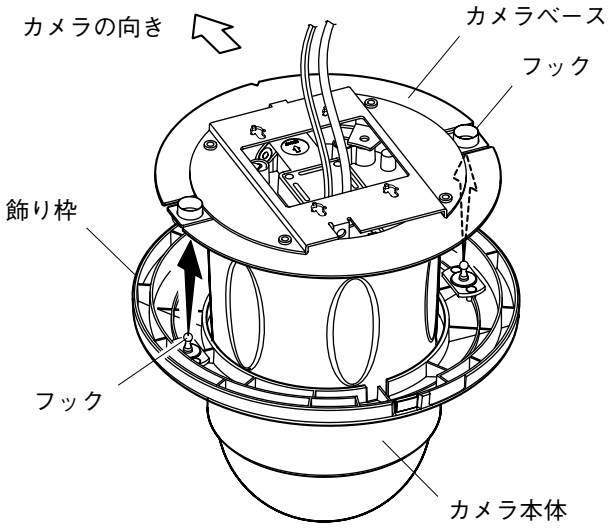
ご注意

カメラユニットを押し込んだ状態で90˚以上回さないでください。
無理な力が加わり、カメラが破損する恐れがあります。



15 飾り枠を取り付ける。

飾り枠をカメラ本体に通し、飾り枠とカメラベースのフックを合わせてカチッとロックするまで飾り枠を押し上げます。



仕　様

取付天井板	40 mm 以下
仕上げ	表面処理鋼板
寸法	130（幅）×41.8（高さ）×92（奥行）mm
質量	130 g
適合カメラ	C-CC501、C-CC504、C-CC551、C-CC554

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。